

目的 妊娠・出産・子育てについての講話を通じて、命の大切さを学び、自己肯定感を高め、子育ての楽しさや喜びを理解する

7月4日（火）6校時、体育館にて全校学活「命の大切さを学ぶ教室」を実施し、講師の笹川助産師様から講話を頂きました。

はじめに自己紹介を、事前に生徒からとっていた質問「助産師の仕事内容は何ですか？」に答える形でしていただきました。

次にプロジェクターを使って、受精時の卵子の写真や1ヶ月目から9ヶ月目の胎児の成長の様子を、写真を使いながら説明し、次に分娩時に赤ちゃんが骨盤を通る様子やへその緒の役割などを、模型を使って説明していただきました。説明の中で無事出産したタイミングでは、何人かの生徒から拍手も起こっていました。

お腹の中の赤ちゃんのご家族が一生懸命協力して生まれてきた命、その大変さをしっかりと理解することで、「自分を大切にする力」「みんなを大切にする力」を身に付けてほしいと笹川さんはおっしゃっていました。

終わりに「思春期は大人になる準備、皆が自分と違うことを理解し、相手を尊重することが大切」と性の在り方やLGBTQ+についても触れながら、多様性の理解と相手の意志を尊重することの大切さを教えていただきました。

最後に生徒会長より「先生のおっしゃった『男らしくや女らしくではなく、自分らしく』という言葉が心に残りました。今回の講話を活かし、これからの生き方を考えていきたいと思います。本日はありがとうございました」とお礼の挨拶がありました。

お忙しい中ご来校いただき、汗を拭いながら、生徒達に分かりやすく丁寧に講話いただいた笹川様に心から感謝致します。



みんな違ってみんないい

ひとりひとりが大切な存在